



研究データポリシーの策定支援

第17回 月刊JPCOAR
2023年2月15日(水)

京都大学附属図書館
国立大学図書館協会資料委員会オープンサイエンス小委員会タスクフォース
佐々木 健二

国立大学図書館協会

総務委員会

人材委員会

資料委員会

システム委員会

オープンサイエンス小委員会

電子資料小委員会

国立大学図書館のRDM支援力強化に向けて

国立大学図書館が各大学の研究データ管理・公開に実質的に貢献

(活動中間報告会) 月刊JPCOAR 令和5年2月15日(水) 14-16時

大学のポリシー策定を支援

策定段階等に応じた課題解決を促進

① 研究データポリシー策定のためのワークショップ

令和4年11月28日(月)

所属機関のポリシー策定状況や課題を共有し、少人数で意見交換・課題解決

② RDM事例共有・意見交換会

令和5年1月30日(月)

AXIES・JPCOARの「研究データ管理事例集」から具体的な実践を紹介

RDM支援業務の設計と図書館職員による実践

図書館職員のスキル向上

NII RDC/
GakuNin RDMに
ついて知識がなく、
画面を見たことも
ない職員向け

RDM支援活動の事例分析と共有

海外先進大学にインタビューし国内に共有

- ・ 支援チームメンバーの専門分野や経歴は？
- ・ 支援チームに参加する図書館職員の役割は？
- ・ 支援業務に必要な知識やスキルは？
どうやって身に着けた？
- ・ 研究者から求められているもの・ことは？

インタビュー先(一部調整中)：ライデン大学、ノルウェー北極大学、ケンブリッジ大学、ワーゲンゲン大学

(京大・阪大・神大・奈女・奈教の各図書館による共同翻訳「データ管理で研究者と協力するために：クックブック」掲載事例から選定)

RDMのための標準技術の普及 RDA編「メタデータ標準カタログ」

日本語訳12月15日(木) 公開

各学術分野ごとの、研究データ記述用標準メタデータの解説集。理系出身図書館員等が各分野ごとに日本語化を監修

研究データに適切なメタデータを付して国際流通性を高められるよう、研究者への助言・補助



GakuNin RDMに触れてみる会

RDM支援業務の設計の参考のため、機能概要を把握

第1回 令和4年12月23日(金)
第2回 令和5年1月11日(水)

データジャーナルとはどんなものか南山さんに教えてもらう会

令和5年2月1日(水)

国立大学図書館協会 資料委員会 オープンサイエンス小委員会

(小委員会)

委員長：永盛克也(京都大学)

京都大学
大阪大学
神戸大学

富山大学
奈良女子大学
大阪教育大学

若手職員によるタスクフォース

東京大学
名古屋大学
京都大学
神戸大学

広島大学
国立民族学博物館

現役の理系出身図書館職員等による専門サポートグループ

北海道大学
東北大学
東京大学
東京工業大学

富山大学
名古屋大学
奈良先端科学技術大学院大学
神戸大学

広島大学
愛媛大学
国立情報学研究所

研究データポリシーの策定支援

1. アンケート調査「研究データのポリシー策定および管理等への図書館の関与について」
2. 研究データポリシー策定のためのワークショップ
3. 研究データ管理支援の実践に向けた事例共有・意見交換会

研究データポリシーの策定支援

1. アンケート調査「研究データのポリシー策定および管理等への図書館の関与について」
2. 研究データポリシー策定のためのワークショップ
3. 研究データ管理支援の実践に向けた事例共有・意見交換会

アンケート調査

「研究データのポリシー策定および管理等への図書館の関与について」

第9回統合イノベーション戦略推進会議（令和3年4月27日開催）による「公的資金による研究データの管理・利活用に関する基本的な考え方」に基づく、文部科学省研究振興局参事官（情報担当）付学術基盤整備室（令和3年6月2日付け発出文書）『「公的資金による研究データの管理・利活用に関する基本的な考え方」について（通知）』への対応等について、**各機関内での研究データの管理・利活用に係るデータポリシーの策定および適切な取り組みの依頼について、対応状況等をお聞かせください。**

実施期間：令和 4（2022）年7月22日から8月31日まで

対 象：国立大学図書館協会会員館（92機関）

回 答：77機関

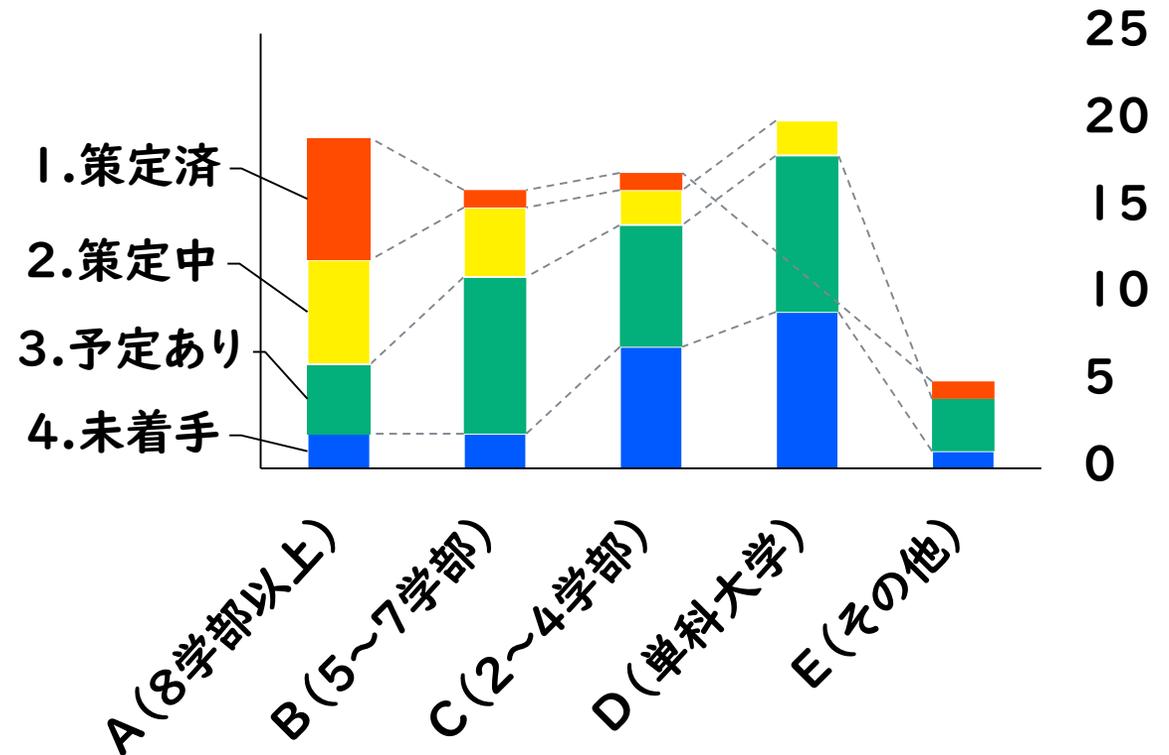
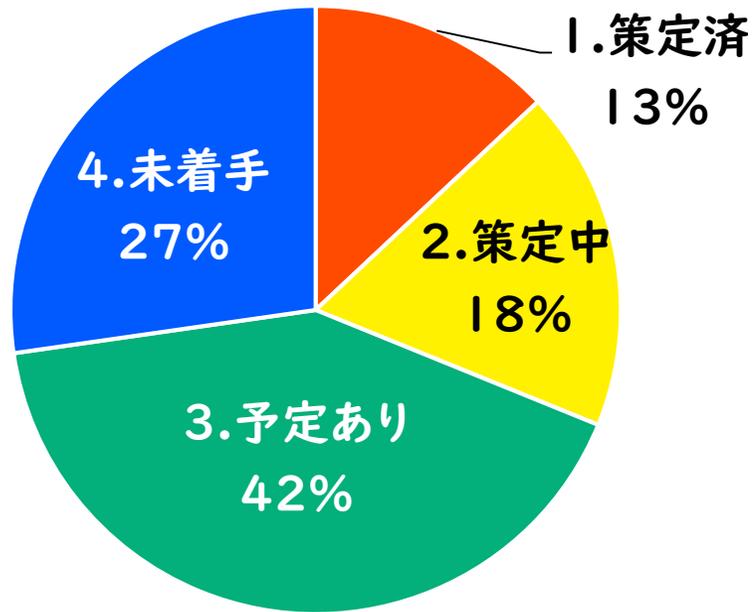
詳細は以下のとおり

国立大学図書館協会HP > 資料委員会

「研究データのポリシー策定および管理等への図書館の関与について」のまとめ

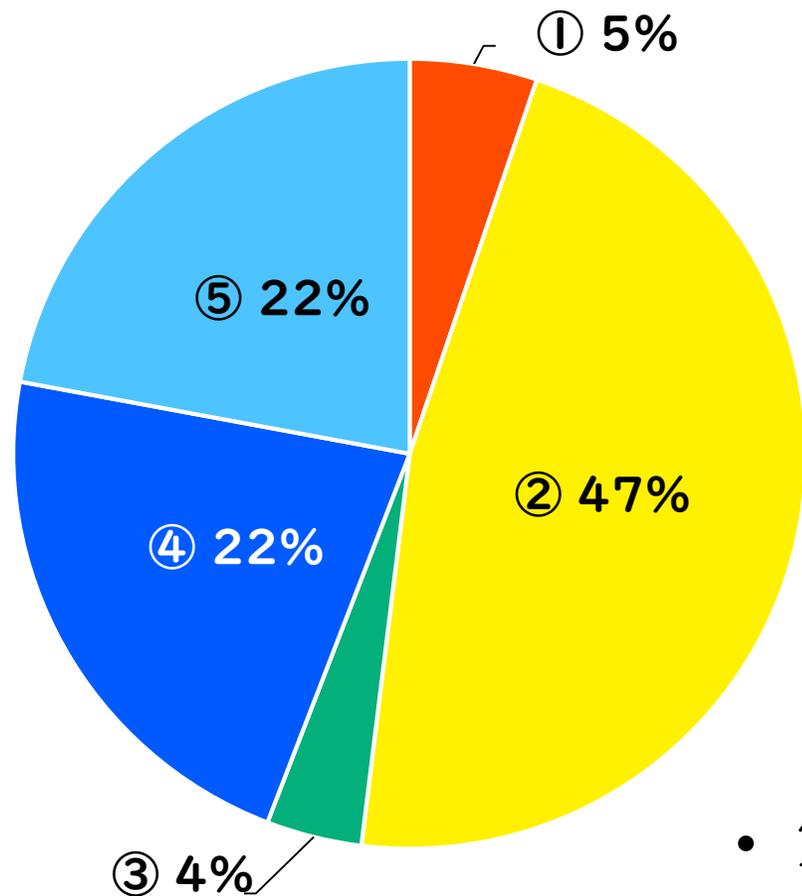
https://www.janul.jp/sites/default/files/2022-09/sirc_report_202209.pdf

問1. 貴学においてデータポリシー策定状況は現在、どの段階ですか？



- 全体の13%が策定済、未策定が87% (策定中:18%、予定あり:42%、未着手:27%)
- ポリシー策定が済んでいるのは大学規模が8学部以上の大学に多い

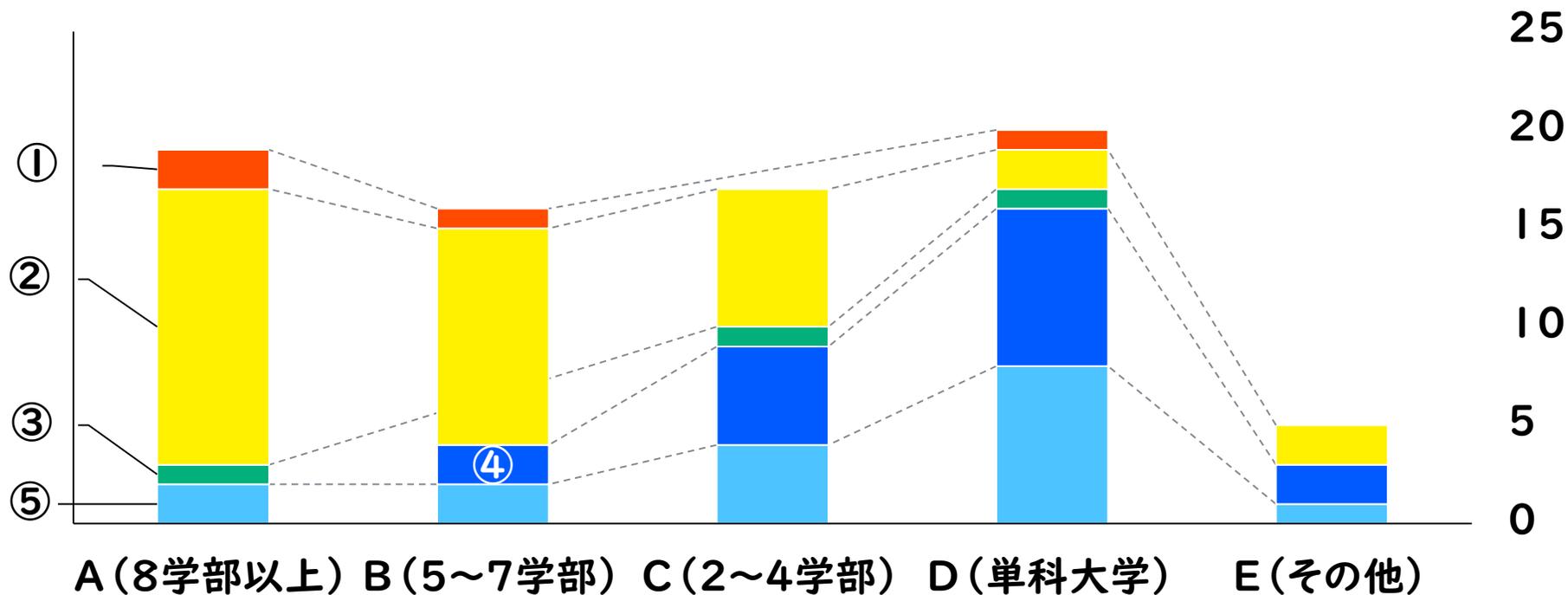
問3. データポリシー策定に、図書館は関与していますか、 または対応予定ですか？



- ① 図書館は、実質的に策定事務の中心的な役割を担っている
- ② 主担当ではないが、図書館も策定に参画している、または対応予定
- ③ 主担当が別にあり、図書館は策定に参画していない
- ④ 主担当が別にあり、図書館の策定への参画有無は未定である
- ⑤ その他

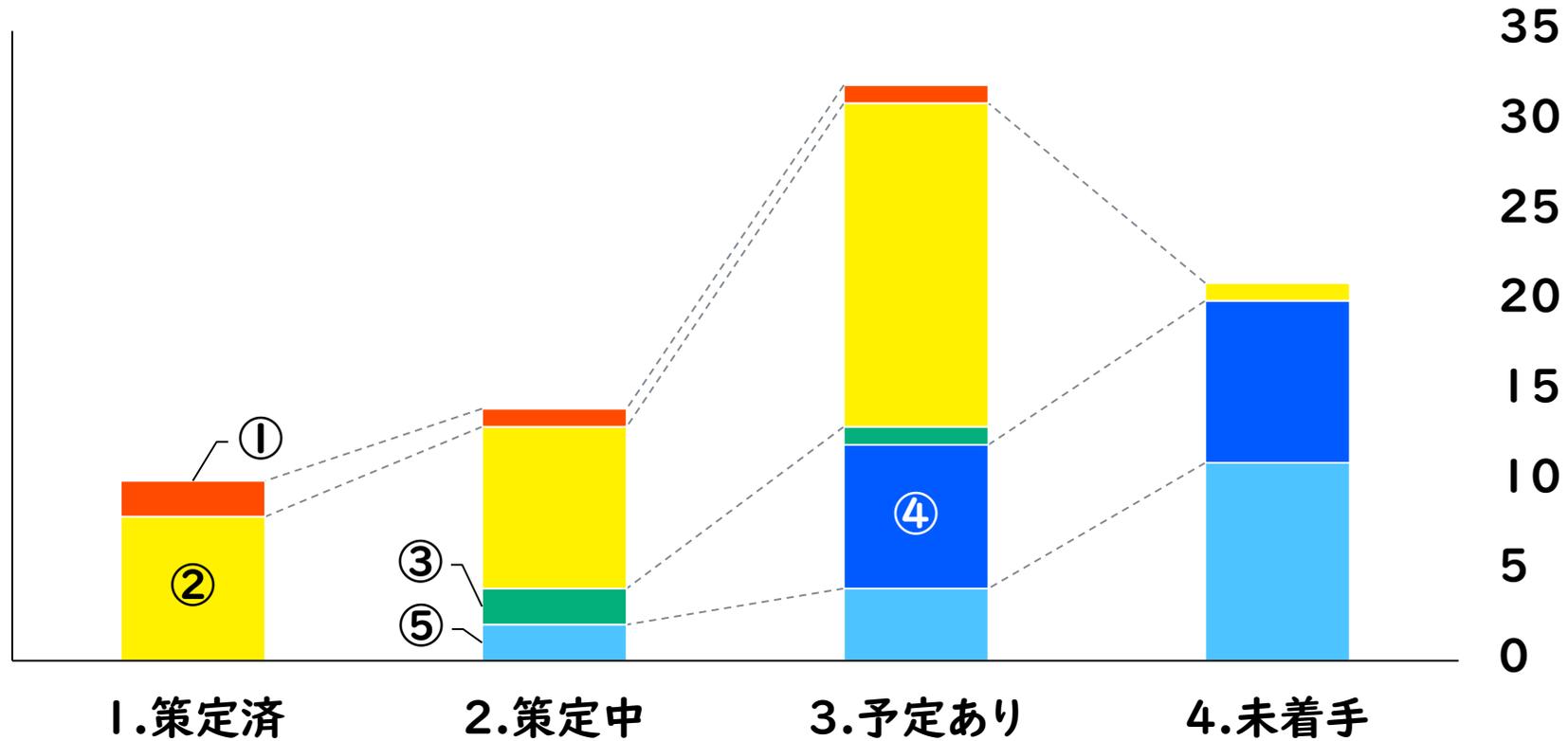
- 策定済の10機関ではいずれも図書館がかかわっている。
- 半数の40機関で図書館が策定に関わっている。

問3. データポリシー策定に、図書館は関与していますか、 または対応予定ですか？（大学の規模別に集計）



- ① 図書館は、実質的に策定事務の中心的な役割を担っている
- ② 主担当ではないが、図書館も策定に参画している、または対応予定
- ③ 主担当が別にあり、図書館は策定に参画していない
- ④ 主担当が別にあり、図書館の策定への参画有無は未定である
- ⑤ その他

問1と3のクロス集計



- ①図書館は、実質的に策定事務の中心的な役割を担っている
- ②主担当ではないが、図書館も策定に参画している、または対応予定
- ③主担当が別があり、図書館は策定に参画していない
- ④主担当が別があり、図書館の策定への参画有無は未定である
- ⑤その他

• 図書館が関わっている大学は策定状況が進んでいる傾向が強い。

今後の課題

1) ポリシー策定前^前の機関

- ポリシー策定の議論を行う場が設置されていない。
 - ✓ 他部署を巻き込んだ動きをボトムアップですることが困難
 - ✓ 関係部署の動きが不透明
 - ✓ 研究データ管理の必要性の認識不足
- ポリシーを策定してからどのように実効性を持たせるか（ポリシー策定中・策定済の機関と同様）
- 研究データの公開基盤として既存の機関リポジトリが機能するか

今後の課題

2) ポリシー策定 **中** の機関

- ポリシー策定済の機関と同様、ポリシーに実効性を持たせられるか
 - ✓ ポリシーを踏まえた実施要領や各部局での実施方針の策定 等

3) ポリシー策定 **済** の機関

- ポリシーに実効性を持たせられるか
 - ✓ ポリシーを踏まえた実施要領や各部局での実施方針の策定
- 研究データの受入れ業務の具体策
 - ✓ メタデータの付与
 - ✓ 研究データ管理基盤と公開基盤の運用方法
- DMPの作成支援 等

研究データポリシーの策定支援

1. アンケート調査「研究データのポリシー策定および管理等への図書館の関与について」
2. 研究データポリシー策定のためのワークショップ
3. 研究データ管理支援の実践に向けた事例共有・意見交換会

研究データポリシー策定のためのワークショップ

1. 対象者 自機関の研究データポリシー策定を目指し、意欲を持って他機関とのワークショップに参加することのできる国立大学図書館協会会員館所属機関の職員
2. 開催日時 令和4年11月28日(月)14:00~16:00
3. 開催形式 オンライン(Zoom)
4. プログラム ①事例報告
②グループでの情報交換・意見交換・課題の共有
③全体での意見交換・質疑応答
5. 申込数 31名

先行事例を「きっかけ」に

- 自機関でのやり方を今後、検討していく
- 自機関に合うやり方を見つける
- 今後、考える機会(時間)を持つ

「グループでの情報交換・意見交換・課題の共有」で出た話題

- 管理対象データとして研究データだけでなく教育データを含めている先行例があるが、みなさんの大学ではそのへん議論していますか？
- 研究分野によって研究データの考え方が異なるため、ポリシー策定の意義について丁寧な説明が必要
- 複数の部署が連携して進めていくなかで、どの部署が中心になって進めていくか？
- ポリシー策定後の実際の運用では情報基盤系との連携も重要になる

開催後のアンケートより(抜粋)

1. さらに聞いてみたいこと(ポリシー策定について)

- ポリシー策定の際に最も困難だったことは？ ポリシー策定関連業務により職員の負担がどの程度増えるか？ 負担を増やさないためにどのような対策を取ればよいか？
- 教員からの意見をポリシー本文や実運用に反映させた事例
- 研究者(教員)からの懸念事項やご意見を共有いただけると、ポリシー策定やサービス設計にとっても有用な材料になると思います。

開催後のアンケートより(抜粋)

2. さらに聞いてみたいこと(ポリシー策定以外)、開催してほしいイベント

- 研究データのリポジトリ登録実務のマニュアルなどができているか
- 先行している機関に、データ登録の実例・実際の作業内容・登録して判明した課題等を伺いたい。
- データ管理について学内で行なっている支援の具体例。検討したが実施まで至らなかったものについてはその理由。
- ポリシー作成後、支援サービスの導入に向けた年次計画が必要と感じました。
- 機関リポジトリを使って公開する場合、大きすぎるデータの取扱方針について。

→研究データ管理支援の実践共有の必要性あり

研究データポリシーの策定支援

1. アンケート調査「研究データのポリシー策定および管理等への図書館の関与について」
2. 研究データポリシー策定のためのワークショップ
3. 研究データ管理支援の実践に向けた事例共有・意見交換会

研究データ管理支援の実践に向けた事例共有・意見交換会

1. 対象者 自機関で研究データ管理支援を促進するために、意欲を持って他機関との意見交換に参加することのできる国立大学図書館協会会員館所属機関の職員
2. 開催日時 令和5年1月30日(月)14:00~16:00
3. 開催形式 オンライン(Zoom)
4. プログラム ①事例発表(7機関)
②全体での意見交換
5. 申込数 75名

研究データ管理支援の実践に向けた事例共有・意見交換会

事例発表 > 『研究データ管理事例集』 <https://doi.org/10.34477/0002000217>

大学ICT推進協議会 研究データマネジメント部会, オープンアクセスリポジトリ推進協会 研究データ作業部会, n.d., 研究データ管理事例集: オープンアクセスリポジトリ推進協会.

各機関の特徴的な取り組み事例, 及び事例の傾向分析が含まれています。
本文書が, これからRDM体制を立ち上げようとする皆様への一助となれば
幸いです。

『研究データ管理事例集』p3より

事例発表の主な内容

1. 国立環境研究所

- 研究データ公開リポジトリの開発・運用
- 研究データ関連の講習会開催

2. 理化学研究所

- 研究データ管理事例

3. 北海道大学

- 機関リポジトリにおける研究データの登録事例分析

事例発表の主な内容

4 . 総合研究大学院大学

- デジタルアーカイブズの公開に伴う責任について

5 . 沖縄科学技術大学院大学

- 研究データアーカイブ手順の整備

6 . 東京工業大学

- 「研究データポリシー」の策定

7 . 九州大学

- 全学的な研究データ管理支援部門の設置

開催後のアンケートより(抜粋)

1. さらに聞いてみたいこと

- 各機関のRDM用予算(イニシャル及びランニング)及び人員数
- データ出版の実例と公開(非公開)までのフローチャート
- DMPのひな型をどうしていくかという話が出ていましたが、NII RDCとの連携やファンド機関の要求を踏まえ国内で標準化したものを検討していく流れになると思います。そういった関係者間での情報共有も図れればと思います。
- メタデータ項目、研究データのフォーマット、ストレージの運用、教員との協力など。
- 理系以外の研究データの管理事例
- 研究データのライセンスについて、法律的な見地や知財的な見地から専門家にお聞きしたい。

開催後のアンケートより(抜粋)

2. 今後開催してほしいイベント

- **今回と同様に**、研究データに関する各大学の取り組み事例について聞きたいです。
- 今回のようなポリシー策定後の機関の動向・取り組みを共有できるイベントを**継続的に開催**いただけると嬉しいです
- データポリシーおよびその運用方針が未策定です。策定済みの大学はどちらかというとも規模の大きい大学が多いように思われるので、**小規模・中規模**の大学で策定済みのところがあれば、事例(策定の流れや課題と感じているところなど)を共有いただけると大変ありがたいです。
- 今回は予算・人材に余裕のある大学の事例でしたので、**今後は中・小規模の大学の事例**を伺いたい。

研究データポリシーの策定支援

1. アンケート調査「研究データのポリシー策定および管理等への図書館の関与について」
2. 研究データポリシー策定のためのワークショップ
3. 研究データ管理支援の実践に向けた事例共有・意見交換会

ありがとうございました